第８７号
令和7年2月7日
編集責任者　鈴木　祥弘

清里農連通信

発行　清里町農民連盟
清里町羽衣町2番地
TEL 0152-25-3792
FAX 0152-25-3793

令和6年度　地区別懇談会

１月14日から16日と20日の4日間で地区別懇談会がありました。昨年はブロックごとに行われていましたが、総会などでコロナ前同様、各集団で行ってほしいとの意見がありましたので、今年度は各集団ごとに農協会議室で行い、119名の盟友に集まっていただきました。

懇談会の目的としては、各集団の現状と課題の把握、地域内の連携強化、今後の活動方針の検討を目的として行いました。

今年度の活動について、町内対策、国有林整備事業、鳥獣被害対策、種子馬鈴薯対策、北見地区、道農連の活動などを報告しました。

組織対策では、産業振興課や議会と鳥獣被害や支障木、道路整備、農業振興に関する意見交換を行いました。

農畜産対策では、鳥獣被害･種子馬鈴薯などについて、北海道農政部やオホーツク総合振興局との意見交換、澱粉工場とホクレン製糖工場に受入状況調査、北見農業試験場とオホーツクビーンズファクトリーへ研修に行ってきました。

盟友からは、ゴミの不法投棄について、農地への侵入、町営牧場跡地の活用、山林や鉄道林の伐採、9線道路などの農作物輸送の基幹道路の早期整備、河川の管理、澱粉工場の廃液散布事業、鳥獣被害対策では牛舎内の被害や駆除後の出口対策、熊用の箱ワナ、てん菜関係ではタップ率、輸送の遅れなどについて意見要望がありました。北見地区、道農連関係では、麦･豆類の出口対策、次年度の畑作物の直接支払交付金の単価改定対策、種子馬鈴薯対策について意見要望がありました。

今年度は集団ごとの開催だったこともあり、多くの盟友に参加していただき、様々な課題や意見をお聞きし、皆様と貴重な意見交換ができたこと大変うれしく思っています。皆様の声をしっかり受け止め、今後の活動に活かしいきたいです。

吉田　哲也







編集後記

２月になり、春に向けての作業が始まってきました。皆さん、怪我や病気には十分気を付けて作業を行っていただければと思います。

鈴木